

平成26年 第1回町長と教育委員意見交換会会議録

招 集 年 月 日	平成26年4月23日	
招 集 場 所	役場 町長室	
開 会	15時30分 委員長宣告	
出 席 委 員	増原町長 井上教育委員長 立脇教育委員 福田教育委員 川上教育委員 内田教育長	
欠 席 委 員		
議 事 日 程		
議 事 の 経 過		
日 程 そ の 他	発 言 者	発 言 の 要 旨
・新北の原橋を架け替え、パセオのバスロータリーを寄宿舎周辺に変更することにより、児童生徒の通学、特に下校時の安全を期すことについて	委 員 長	<p>大変忙しい中教育委員会のこうした意見交換会を持っていただきまして、ありがとうございます。平素から、日南町の教育の振興、教育行政の推進につきまして、いろいろご理解、ご支援をいただいておりますことに、この場をお借りしましてお礼を申し上げたいと思っております。</p> <p>今、私たちが抱えております課題を3点ばかり提案をさせていただきます、ご意見を頂戴したいと思いますので、よろしく願います。</p> <p>まず1つは、児童生徒の通学の安全対策です。ご承知のとおり、パセオのバスロータリーが非常に狭いということで、我々も心配をしております。事故が起きなければ良いがという心配をしています。現在、児童生徒は272名おります。そのうちの9割、約240名位がバス通学をしていると聞いています。朝の場合には、見守り隊の方も居られまして、それ程心配はないかなあという気がしていますが、帰る下校時の時には100名位がいっぺんに集まってくる。しかも、下校時というのは子どもが随分開放的な気分になって気の緩みもありますし、狭い所へ大勢が集中していると、思いがけない事故が発生しないだろうかと心配をしています。バスの運転手さんは十分気を付けて運転はしてくれているとは思いますが、バスには死角がありますので、思わない所でうろろしている子どもが事故に会うことも考えられなくもない。</p> <p>あそこで事故が起こらなければ良いというのが、我々の一番の心配の種でもあります。学校の先生方もそのことを心配しておられることを感じています。事故というのは、起こってしまえば取り返しがつかない訳で、先般も登校時の児童が中</p>

		<p>学校の先生の車にはねられ死亡するという痛ましい事故がありました。事故というのは、どこでどういうふうにかかるかわからない。万全には、万全を期して、事故のないように安全な対策を講じていかなければならない。子どもの事故は、起こってからでは、取り返しがつかない。いかに立派な教育を実践していても、1つの大きな事故が発生すると、それで全てが駄目になってしまう。万全には万全を期して、事故のない対策を講じておく必要がある。安全管理には、先手先手の対策を講じておく。これが鉄則かと思っています。予想される心配な面を出来るだけ排除して、安全性にはくれぐれも気を付けておくことが一番大事ではないかという気がしています。そういったことでは、バスロータリーを変更することが、一番私たちは好ましい対策ではないかという気がしております。あそこの橋を出来るだけ早く架け替えていただいて、寄宿舍周辺にバスロータリーを造っていただく。そうすれば、安全面では万全の対策がとれるのではないかという気もしていますので、是非とも町長さんにはその辺りを考えていただきまして、出来るだけ早く新しいバスロータリーの検討をしていただければという気がしています。子どもの安全対策という面で、提案をさせていただきます。お考えを聞かせていただいたり、これからの方向性を考えればと思っています。</p>
町	長	<p>この話はどこから出ているんですか。どこがバスロータリーしたいとおっしゃっているんですか。教育委員会ですか。学校ですか。</p>
委 員	長	<p>教育委員会です。</p>
町	長	<p>今おっしゃったことを2年前十分したつもりです。教育委員会も含めて、中学校の保護者の方にも話をした。その時には校長先生もおられて、あの時にも京都で歩道に乗り上げて子どもが引かれるということがあったので、新北の原橋も含めて、架け替えをする中で歩道橋をという話もした。その時は、全然そういうことは言われなかった。一言も、正直言って、議会で6対5で否決されまして、非常に私は^{じくじ}忸怩たる思いだったんです。言われることは私どもも言ったんですが、何かあるかわからないから、安全対策大事ではないですか。正直何かあるとしても、まず歩道橋を造って、車道と歩道を分離することが大事ではないですかと言いましたら、それについて教育委員会、学校現場も何も言われずに、川側にバスを回るようにしたらどうかとかという話をされて、結果的には出来ない話で、没になって予算を組んだものを流した形になった。あの時には、ご承知のとおり非常に国自体も交通安全に関しては、通学路の安全対策第一の重点事項にしていたので、ほとんど補助で出来るという話もしました。端的な話をすると、そんな必要もない。代替えの橋もいない。子ど</p>

		も達もその時には、あっち側を通っていくから、今の橋の代替えも必要ないことを言われました。そこまで言われて、否決になった。議員の中にも、よく理解された方もおられましたので、5人は賛成されましたけれども、6人の方はPTAも言われるし、教育委員会もそういう意見ではないということで反対された。私ども言いたいのは、パセオのロータリーの場合には町が責任を取って、寄宿舍の場合のロータリーの時には教育委員が責任を取っていただけるんですか。今までの意見を聞いていると、あちら側に建てれば我々が責任を取りますという話ではないですか。今までのロータリーの場合には責任とりませんということですよ。
委員	長	別にそういう気持ちは、全くありません。
町	長	今でも私どもは、責任はとらないといけないと思っていますし、当然向こうにいても責任はとらないといけないと思っています。でも、その中でこの橋の話というのは本当に忸怩たる思いがあるんです。
委員	長	歩道橋の話は聞きましたが、バスロータリーを向こうへ造っていただきたい。
町	長	ですから、元がそこに話があるから教育委員会は駄目だと言われたんですよ。
教育	長	駄目ではなく、協議がなかったんですよ。
町	長	協議が無くても、あっても同じ話です。
委員	長	歩道橋の話は聞きましたけれども、バスロータリーは依然として今の所にある。
町	長	バスロータリーが向こうにいった時には安全で、こちら側では安全ではないということですよ。
委員	長	はい。
町	長	当然、向こうにいったら教育委員会としては安全で責任をとるけれど、こちらの場合には責任をとらないということですよ。
委員	長	責任をとるとかそういう問題ではない。こっちは町長が責任をとる、あっちは教育委員会がとるという問題ではない。あくまでも、最終的には町長が責任をとらなければならない。
町	長	でも、私からすれば、その当時の方がはるかに今より子どもたちは多かったですよ。その時には、安全対策でこういうことやっていきましょう。次には、橋を造りましょうという話を何回もしています。だけど、それは駄目だ。とにかく向こうにロータリーありきだと、ずっと回ってもらわないと困るという話をされて、霞の所からあっちに回って、出来ない

	<p>委員 長 町 長</p>	<p>なら、ぐるっと回って道路を造ってくれと話をされた訳ですよ。そういう話が議会の中にいっているから、その時に我々とすれば協議があったか、無かったかは別ですよ。子ども達の安全をやりたい。面子^{めんづ}ではなく、その辺の話にのっていただいて、いい方向を考えようという話をしていただければよかったです、私から言えばどちらかと言えば傍観者だったと思うんです。教育委員会も学校現場も、一言もそういうことを考えましょうという話は全くなかった。私も2回説明に出ました。校長先生をおられましたけれども、一言も学校側は発言がなかった。PTAは言われました。「学校は、どう考えているんだ。私達はわかりません。」</p> <p>私達がずっと言い続けていましたのは、バスロータリーが非常に狭いから、向こうにバスロータリーを造っていただく。最初に、あそこに小学校と中学校がいった時に、バスロータリーがあったんです。バスロータリーを後から造った訳ではない。中学校が先に出来て、バスロータリーが出来て、その向こうに小学校が出来た訳ですよ。そういう中で、今まで事故が一回も起きていないと言われた。起きるかもしれませんよと、私は何回も言いました。PTAの方々は、起きていないじゃないか、そんな必要でないものをする必要がないと言われた。それに対して先生方や教育委員会は一言もなかった。その時にあれば、私は出来たと思っているんです。今回、あの橋を仮に替えるとして、仮設の歩道橋はいらないんですか。ずっと子ども達は、霞の大橋の手前から土手を回って行くんですか。私、そのことも言ったんですよ。それはそれでいいよ。そうでいいから歩道橋はいらないと言われたんですよ。それは違うじゃないですか。今になってそういう話をされても、始めからバスロータリーはそこでないと認めないという話ではないですか。そういう話であれば、全体的な中心地構想で考えていかないといけないし、寄宿舎の建物にしても、保育園にしても、橋の道路にしても、また考えないといけない。本当にそうなのか。寄宿舎を壊して埋め立てて、あそこにロータリーを造りたいことだけが眼目ではないのですか。今よりはどんどん子ども達は間違いなく減っていく。一番多かった時には、その話は出ずに、私とすればとりあえず歩道橋を付けて、次に橋を直したい。あそこで歩道橋と橋を二車線が出ていましたので、それを付けた橋は無理なんです。今のロータリーを潰しても、吉本さんの家を立ち退きにしないと無理なんです。そういう話をしたんですけれども、全然協議に乗っていただけなかった。その時に一言でも、もう一回我々はそうだったら事業は始めて考えようということであったならばよかったけれども、正直言って非常に残念でした。たった1票差で、否決されました。</p>
--	---------------------	--

		学校現場で、PTA や皆さんがおられる中で、前の足立課長は真摯に説明していましたよ。だけど、誰もが始めから聞く耳持たなかった。PTA も、学校現場もそうでした。
教 育 長	町 長	教育委員会には、協議がなかった。
	教 育 長	無くたって。
町 長	教 育 長	無かったら、話が出来ないでしょう。
	町 長	協議をしてから3ヶ月。ずっと協議をしていたんですよ。
教 育 長	町 長	協議は、ないですよ。
	町 長	逆に言うと、教育委員会は自分達のこれでない駄目だという案を出されたではないですか。
教 育 長	町 長	それは、この事業計画が発表されるより、しばらく前の話です。
委 員 長	町 長	私達が話をしたのは、いつもこのことを常に話にしています。橋を付け替えて、向こうにバスロータリーをして、子どもの安全を確保する。それはずっと教育委員会の中では言い続けているところです。
	委 員 長	それは知っています。その中での判断として、とりあえず歩道橋を付けようとした訳ですから、その話に乗っていただいてもいい訳です。
委 員 長	町 長	歩道橋を付けるという話は聞きましたが、協議は受けていないし、橋を付けてバスロータリーということは聞いていません。
	委 員 長	それはその後の話ではないですか。バスロータリーを付けるとか、付けないという話は、次の話です。付けないかもしれませんよ。とりあえず、安全策として、歩道橋はいるのではないですか。橋を付け替え話をした時も、その時は歩道橋はいらないと言われた。
委 員 長	町 長	その後が、どういうふうになるか心配していた。橋を付けて歩道橋を付け替えてバスロータリーを設置する。
	委 員 長	委員長が言われるのは、バスロータリーの設置がありきなんですよ。だとすれば、向こうで事故が起こった時には教育委員会が責任とられるんですね。それ、ありきでしょう。向こうでない安全でない。こちらだと安全でないという前提でしょう。
委 員 長	町 長	今の危ない状況を少しでも改善するために、向こうへバスロータリーを造ってほしい。

	町	長	その前段として、歩道橋を造りましようと言ったんです。後のことは別です。後にそれが何年になるとか、北の原橋が何年になるとか、例えば二車線になるとか、一車線になるのか、また歩道が付くのか、別の話になるのかにしても、ただここをしておかないと、次の橋の時に仮橋も造らないといけない。委員長は、頭から向こうに必ずバスロータリーがないという意識なんです。	
	委	員	長	それが一番安全だと思うからです。今の危険な状況を解決するためには、少なくとも向こうにバスロータリーを造ればより安全になる。
	町	長	それは、学校や PTA がおられた時には、一言も出なかったじゃないですか。PTA の方は、今の状況では歩道橋まで造る必要はないと言っていたんです。当時の柴田会長は何度も言っておられます。おられた先生方でも、一言も発言されませんでした。今が危ないとか、一言もありませんでした。PTA は、今が安全だと言われたんです。主要な方しか言われませんでしたけれども。何人の方は、後から本当はいるんだけどねえと言われましたよ。実際には、会長さんとか言われたりすると、100 人もおられる PTA の中で 20 人のしか集られず、役員しか集まっていませんから、そういう方が言われればそうでしょうから。その時に学校や教育委員さんの方から、今の状況は危ないんだ、より安全な方向を作ろうという話を一言いただければ、それはそれで変わったと思っているんです。	
	委	員	長	そこら辺の十分考えの統一が出来ていないんです。
	町	長	そうだとすれば、我々の意思の疎通がないということではないですか。	
	委	員	長	私らが考えるのは、バスロータリーを移転してもらおうということを常に話をしている訳です。
	町	長	完全にバスロータリーが向こうでないと安全でないという理論ですけれども。	
	委	員	長	町長は、今のところ安全だと思っておられますか。
	町	長	どこに行っても、安全ということはないですよ。私が言ったのは、とりあえずあそこに橋を造る。	
	委	員	長	より安全な方法を我々は模索する必要がある。
	町	長	私もその案を出した訳です。それに対して教育委員会として、サインがいただけなかった訳です。私が言ったことと同じことを委員長言われているんですよ。より安全な方法を考えませんか。ですから、歩道橋でも造って、車道と歩道を分けて動きましよう。今、対面で時間規制していますが、時々よく見回りもされています。コーンを置かれたりして、コーン	

	委員 長	がない時に車が来て注意をしたと言っておられますけれども、そういうことをやっただけなので安全なんです。歩道橋があれば、橋を渡るよりはより安全ですよ。パセオのバスロータリーがあそこにある限り、歩道橋を渡ってくる訳です。パセオのバスロータリーに 100 人近い子どもがいて、バスが入ってくる。高速道路でもバスの事故があった。
	町 長	その話をすると、バスロータリーがどこにあっても同じことです。そういう話をされるのであれば、どこに 100 人が集まっても、学校のそばにあっても同じことなんです。
	委員 長	危険かどうかということを考えてくださいよ。バスロータリーの中に子ども 100 人いるんですよ。そこにバスが入ってくるのと、もうちょっと広いゆったりとしたバスロータリーを造ってバスが旋回するのと、どちらがより安全か考えてください。
	町 長	私どもは、町民全体のことを思っているんです。お年寄りの方も乗られますよ。たった 50m先にバスロータリーを造って、今の所までたった 50mかもしれませんよ。でも、今のお年寄りは今度バスロータリーまで歩いて行かなければならない。
	委員 長	別に歩かなくてもいいのではありませんか。こちらに帰ってくる訳でありますから、パセオの所にもバス停があれば、そこで乗ることは十分出来る。
	町 長	そうしたら、同じことではないですか。
	委員 長	子どもは向こうにいるからそこで大勢の子どもが乗ってこちらに帰ってくれば、お年寄りはパセオのロータリーのバス停の所で待っておられると思う。大勢の中へいっぺんにいるよりも、より安全ではないですか。
	町 長	言われていることは、全部仮定同じことですよ。例えば今度は、バスロータリーが向こうになったとすれば、今の車で運転する人達は、向こうで待たれますよ。バスロータリーが向こうですから、子ども達向こうで待っていますから。今車で送り迎えされている親御さんは、全部朝夕向こうに回りますよ。
	委員 長	それはあるでしょうね。
	町 長	はい。その時に歩いている子ども達は安全ではないですか。
	委員 長	気を付けないといけません。
	町 長	そうです。それを言えば気を付けないといけません。どこにいても気を付けないといけない。どこにいても同じことなんです。ただ、私ども考えているのは費用対効果であるとか、町民の側からたったものもありますから、どんどん子ども達

		<p>が少なくなっている中で、今の話の中でどんどん子ども達少子化になっている。帰りは車で特に中学生の親御さんは、7割か6割ぐらいは車で迎えに来ておられます。そういう方々が今の道路を通過して向こうに渡った時に、本当はどうなんですか。今はパセオの前で、子ども達パセオに入って待っていますよ。私は、変な話ですけど、パセオで買い食いしてもいいと思います。それが社会生活だと思っています。買い物出来ないような子ども達が大人になっても困ると思うんです。交通安全もルールも同じです。どこかの町には信号がなかったのをわざわざ信号を置きました。それはそうでしょう。そういうものだと思います。これからどんどん競争社会に出ていく中で、日南町のように過保護に育ててもいけないのは、委員長一番ご存知だと思います。その中で当然交通ルールを守らないといけない。ただ、言っているのはパセオのロータリーだから不安で、向こうのロータリーが安全だという考え方はちょっとおかしいのではと思います。どちらでも危険なんです。</p>
委員 町	長	もちろんそうですよ。
委員 町	長	向こうが安全、こちらが不安という理論がよくわからない。
委員 町	長	それは、狭さの問題です。広いのと、狭いのとでは、明らかに広い方がゆったりとして事故が少ない。
委員 町	長	ただ実際から言うと、バスはあそこで待っていますよね。全部が入る訳ではないでしょう。二台入って待っていますよね。次に入ってきますよね。そういうことをいるではありませんか。私は、今が安全ではないという理論の言い方が、運転手さんとか見守りしている方、周囲の大人達に対して失礼だと私は思っています。向こうでも一緒です。こちらが不安です。言われることはわかります。向こうの方が安全かもしれません。かもしれないけど、こちらが安全ではないという言い方はちょっとおかしいと思います。
委員 町	長	今の所の方が、危険な可能性が強いということです。安全ではないとは言いません。すべて危険だとは言いませんが、より安全性の高い所を求めましょうと我々は提案している。その所は、理解してほしい。
委員 町	長	私は、それでないと駄目だということが理解できない。それ以外の方法があるのではないか。それを相談に乗っていただかないと、この間の話みたいにあっちにロータリーがないと次の歩道橋の話も後の話がわかっていないと出来ません。協議に乗りませんという話は、いい加減やめていただきたい。私は、思っ

		います。向こうにロータリーを造らないといけない。今、歩道橋を造ってしまっは出来ないかもしれないからやめさせようという話なんですか。
委 員 長	町 長	そういうことは思っていません。最終的な目標を言っていただければ、我々も。
町 委 員 長	町 長	最終的な目標の委員長の考え方は、向こうにロータリーがないと駄目だという考え方ではないですか。
委 員 長	町 長	そうです。私の考えよりも、教育委員は今までにも度々話をして、それが最善の方法と考えています。
町 委 員 長	町 長	では、あの時霞から回ってバスを回すことを言われたんですか。
教 育 長	町 長	それは、誰が言われたのですか。
町 教 育 長	町 長	教育委員の中から出た。
教 育 長	町 長	誰も言っていませんよ。教育委員会では、そういう議論はされていません。町長言われるのはわかりますけれど、本当にこの件について教育委員会に協議はなかったんです。はっきり言います。
町 教 育 長	町 長	ただ、私はそういう話にちゃんと乗っていただきたかったという思いはあります。
町 教 育 長	町 長	そういうふうな協議をしてもらえれば、このような協議が出来ますが、協議がなかった。
町 教 育 長	町 長	協議がしてないという話があって、2ヶ月か3か月もずっと何回もやったでしょう。
町 教 育 長	町 長	ないです。
町 教 育 長	町 長	していますよ。何回も議会が何時いつしたのか、説明しました。
町 教 育 長	町 長	教育委員会には、ないです。これは、はっきり言います。
町 教 育 長	町 長	本当にお願ひしたいことは、言われるのはよくわかるんです。私どもも同じです。今の話の中で、始めからここありきという話ではなくて、この間も前霞自治会長にも言ったんですが、北の原橋をとにかく二車線で、歩道橋を付けてくれと言われたので、それは無理だと言いました。今の状態では、無理なんです。だけど、それは出来なくても、例えばこれなら北の原橋は二車線だけでも、歩道の歩道ラインは出来ないとか、そういう話というのは出来る。よれる方法があるのではないか。例えば、両側にないとか。時間規制で片側規制にするとか。いろんな方法があるのではないのか。例えば、今の橋を残して、全く新しい橋を造るとかいう話でも、あるのではないのか。今の橋を歩道橋にして、新しい橋を造るとかあるので

		<p>はないのか。そういうことでも考えたらどうですか。でも、その話をした時に、今の話と同じなんです。向こうにあげないと駄目だという話をした時に、今のことも駄目なんです。例えば、新しい橋を二車線付けて、今の橋を歩道にしてということも出来るんです。でも、それがロータリーという話をした時に無理なんです。今度の橋は、取り付け角度が違いますから。今の橋を落とさずに、歩道専用の学校専用の橋にして、こちらに新しく車道を二車線造るということは確かに出来るんです。だけど、そうした時に取り付けが違うから、向こうにロータリーは無理なんです。そういう話をした時に、ロータリーは無理だから、その橋も駄目だという話をしだすと、話が進まないですよ。多分分かっていただけとは思いますが、そういう相談にも乗っていただかないと、始めから向こうにロータリーがないと駄目なんだと言われると、こちらは取り付く島もない。</p> <p>委員長　そこら辺をもうちょっとお互いに話し合いをしてみる必要があると思うんです。実際に我々は、教育委員会の中では話をしていますが、そういう話が伝わってきていない。</p> <p>町長　こちらの方は、その話をしても元に帰ったり、同じ話になりますがロータリーを向こうに造ってくれということと言われる訳であります。議会でも何でも言われれば、それだけしか駄目だと思う訳です。けども、また別の方法があるとすれば、協議に乗るよという話が前もってあれば、そうですけれども、これまでずっと同じことを言われていきますから、終始一貫されているのでそれはそれでいいと思います。ただ私がお願いしたいことは、北の原橋を架け替えるには、いろんな方法があります。例えば、場合によってはロータリーを変えるということもあるかもしれない。今言うように、小中学校しか使えない橋を造ることによって、安全性が保たれる。今のロータリーをバスが通らないということもあると思いますので、そういうことであればいい訳ですよ。端的な話をすれば、バスが横を通るとのことだあってある訳です。中で回らないとか、そういうことだあって出来る。そういう協議に乗っていただきたいと思っています。</p> <p>教育長　今後、協議を重ねるということで、この件は終わります。</p>
--	--	--

<p>・築20年を迎える総合文化センターのリニューアル・機能拡充を目的とした検討整備を進めることについて</p>	<p>委員長</p> <p>町長</p>	<p>文化センターのリニューアル・機能拡充を目的とした整備を検討していただきたい。</p> <p>一昨年の場合には照明設備が更新されました。今年の場合には、空調設備、LEDの更新をしていただいておりますが、20年経っている。20年経ってくると、いろんな面で、機能面でも不十分な所が出てくる。特に感じていますのは、100人程度の団体の場合には多目的ホール、庁舎のスペースを使ったりして十分対応できる訳ではありませんけれども、それが200人程度位になってくると、大ホールでは前の方に少しいるだけで、対応が難しい状況。そういった点を考えても、小ホールが1つあれば、より利便性に富んだ対応ができるのではないかという気がしています。また、スペースのことで言いましたら、図書館も非常に手狭な状況になっている。図書館は、当初計画が5万位の蔵書で、現在6万1千冊あると聞いております。毎年1800から2000冊新しい図書を入れている。これが、数年先には7万を超えてしまうという状況も生まれてくる。そうすると、スペースも手狭な状況になる。私も、ちょっと入ってみましたけれども、書棚の本が並べてあるその上に横向きに本が並べてある状況です。我が家の本箱と同じ状況だなと感じた訳ですけれども、やはり公共の図書館としては、スペースがないからそういう状況になっているだとは思いますが、ゆとりのある書庫ができないかなあという気がします。閉架式の倉庫が裏にありますけれども、ここも見させてもらいましたら、満杯状況でこれ以上入りきれない状況になっている。そういった点を考慮しましても、もうちょっと何か方法が取れないだろうかという気がしています。ここの図書館は、非常にスペース的にはゆったりしている気がします。車椅子等で入れるようになっているために、余裕を持った書架の並べ方をしているなあと感じていますが、これはこれとしていいやり方だなあという気がします。ちょっと工夫して、書架が並べられるようなことを考えてみる必要があるなあという気もしています。</p> <p>美術館について、地元の一般の人が展示をしたい希望に対応するためにも、何かいい方法がないかなあという気がしています。ニーズにあった文化センターのあり方を将来に向けて検討してみることも必要かという気がします。</p> <p>文化センターも全般的に、特に図書館・美術館は一所懸命頑張っているなあというふうに評価はしております。この間、図書館の書庫をみせてもらいましたが、確かに手狭な状況だなあと思いました。その辺は改良する余地はあるのかなと思いました。美術館も、非常にいいのは岸本さんであったり、影井さんであったり、渡辺さんが展示をされる。地域や友人の方がされるというのは、文化的な広がりといいますか、非常にいいと思っています。ただ、今の話で1階を使うと2階は閉めてしまうとか、そういう部分も展示としてどうなのかなあという気がしているところですし、階段辺り何であの時も</p>
--	----------------------	---

		<p>うちよっという場所にエレベーターを付けなかったのかなという気もしないのでもない。正直なところ井上さんと松本さんの部屋があるところなので、上がったもそうとう歩かないと美術館にならない。下手をすれば、戸が閉まっていることもあるのかもしれない。美術館にとっては、あまりにもなってないと思っています。全体的に古くなってきている中で、整理はしていかないと、正直外観はあまり変えたくないこともあります。構造上問題と、雪の関係とか、あまり張出とか掛け出しとかしたくないと思っている。特に内側は完全にアーチの昔でいうとギリシャ神話のようなあまり凝り過ぎた使わない玄関もあり、おもしろくない部分もあるんですが、とは言いながら美的感覚もあるので、こちらにしても池を潰したり、いろんなことを思ったりしているところです。出来るだけ形態を変えない形にはならないのかなと思っています。今言われるように、図書館の蔵書も増えてきている。1つ思ったのは最近の蔵書の傾向として昔のような文学全集とか、読まれなくなってきているので、もしそういうふうなものがあるとなれば、少し整理する必要があるのかなと思います。国木田独歩とか、石川啄木を読む人は、たぶんいないのかな。国木田独歩の本は絶版になったといっていましたので、そういうふうなものが仮にあるとなれば、少し整理をする必要があるのかなというふうな気がしています。逆に言うと、完全に蔵書としてあるのだけれども、あまり読まない本はどこか別の所にストックしておくことも考えいかないといけないのかなと思っています。その辺は、司書の方とも相談をしながら、何かいい案があれば提案をしていただけたらと思っています。</p> <p>委員長 読まないけど、廃棄が出来ないという本もあると思います。閉架の書庫に収納しておいて、もし要請があればそこから取り出す。そのスペースも少し狭いなと入ってみて感じます。</p> <p>町長 実際、置いてある本についても作家によって、奥の方に差し込んである本もありますので、見たときにそういうふうなことは実際ないんですけども、何か雑然としているなという印象はあります。本を減らして整理をする。作家自体を減らしていく。例えば、何という作家の本は言って下さいとかあってもいいのかなと思ったりはしました。そういうふうなことも、見させていただきました。</p> <p>委員長 日南町の場合には、設備的には充実をしていると思います。図書館に入ってみても非常に明るいし、ゆったりしているし、美術館の展示等についても工夫がされている。評価も高い。そういった意味では、かなり充実はしてきていると思いますが、さらに文化を向上させようと思ったら、それなりの対応をしていく必要があるのかなという意味で是非検討を進めてみ</p>
--	--	---

	町	長	<p>ていただけたらという気がします。</p> <p>それ以上のことになると大きなこととなりますので、総合計画とか過疎計画に載せていく必要があるので、その辺のところも含めてやらないと、単に何千万という単位ではなくなってくるし、ある程度デザイン的な協議、設計も出てくる。その辺は、また教育委員会も含めて検討してもらえればと思います。</p>
--	---	---	---

<p>・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の案が平成27年4月1日施行期日で議論されていることについて</p>	<p>委員長</p>	<p>教育委員会制度の改革に向けて、国会で審議がされている。おそらく、来年の4月1日から新しい法律が施行になるという気がしております。この法改正について、我々の思いとか、町長の考えをお聞きしたいと思っています。1つは、首長の権限が強化された。首長は、総合教育会議を主催して、教育委員会と協議をしながら教育の振興に関する施策の大綱を策定となっている。これは非常にいいことだと思いますし、度々教育委員と町長とが協議を重ねるということですので、十分意思の疎通が図られるという意味で、大変いいことだと思っています。ただ、首長の権限が強くなり過ぎると心配な面も出てくる。それは、首長の一方的な考えを押し付けられてくると、教育の中立性、安定性、継続性が損なわれてくる。それが一番心配です。我々が報道を通じてしかわかりませんが、一番端的に出ているのが大阪市の状態だろうと思います。市長の一言で全てが変わってしまうことがあると、教育というのは将来を見込んだ継続的な取り組みをしていかないとけないものが、首長が変わる度に方向が違ってくるのは、考えてみる必要がある。新聞の報道がありましたが、大阪市、大阪府の場合には、統一テストを実施する。統一テストを実施して、府立高校の内申書に反映をさせることがなくなっていました。府の教育長は、自治体の教育委員会に任してはどうかという考えを持っておられたようですが、大阪市長のそれでは駄目だと入試の内申書に反映させないと意味がないという一言によって、変わってしまった。一人の考え方で決めてしまって、本当にいいのだろうか。そこが首長と教育委員会とが十分練ったうえで、共通点を見い出して推進をしていくことが非常に大事であるような気がしています。総合教育会議の在り方について、どのようにお考えなのかを聞いてみたいと思っています。</p>
	<p>町長</p>	<p>一番大きかったのは、大津のいじめ問題。若い市長が謝って、報道の中では教育委員会は謝らなかった。責任の所在がはっきりしなかった。責任を取らない教育委員会なら、市長が始めからやった方がいいのではないかと極端な話だったと思います。一般的に、首長とすれば教育の中立性ということから、教育委員会に手が出しにくい意識がある。この間も知事と教育長との意見が食い違った部分もあった。この部分だけは聞いてくれという部分は首長としては持つと思うんです。大阪市のような個人的能力が高い方なのか、それともブレーンがしっかりしているのか、よくわからないですけども、ああいう方ならやられると思うんですが、教育行政の中であれをこうしなさいといちいち言っている余裕がない訳でありまして、それは教育委員会の方で考えていただかないと思っています。教育の継続性とか心配はしない。首長が教育現場に口を出すのではという恐れ、教育長と教育委員長が分かれていますけれど、これが一つになることによって教育行政の</p>

		<p>トップの力が非常に強くなる。逆にその恐れが2つが言われている。その両面は危惧される部分はあると思っています。踏み外さない程度にお互いやってあげばと思っています。</p>
委員	長	<p>教員というのは、中立とか安定とか継続とかが染み込んでいるものでいますから、改革ということに不十分と感ずます。首長というのは改革を進めていきたいという意欲が強いから、そこで教育関係ですとやっているものと感じ方が違うんだらう。だから、首長側からすると何でそんなことが教育関係者は理解できないのか、何でやろうとしないのかと気持ちを持たれる。一方の教員の方は、急激に変えたら現場が混乱すると意識が強いから、そここのところに違いがある。</p>
町	長	<p>首長が教員と話をするというは、ほとんどないと思います。そこまで意識統一できれば、いい組織だと思いますが、校長とか教頭とか教務主任にそういうふうな方向でやってくれとあるかもしれませんが、一つひとつする気はない。</p>
委員	長	<p>総合教育会議が出来たことについて、私は非常にいいことだと思います。それは、教育委員会と首長とが十分話をして、まとまったことをお互いに実行していこうということです。そういう場が設けられることについて有意義なことだと思います。</p>
町	長	<p>何をどうすればいいのか、よくわからないですけども。</p>
委員	長	<p>首長が提案をして、教育委員が集まり、テーマを決めて、お互いに話をすることになるかと思ひます。その辺りが私たちがよくはわかりませんが、初めての制度ですから、これから十分検討をしながら進めていく必要がある気がします。</p>
町	長	<p>逆に教育委員会からのこういう課題があるという話を出していただきながら、それについての私の考え、皆さんの考えを話していくような場になるのではと思っています。あまり堅苦しくというものはないような気がします。</p>
委員	長	<p>教育委員会制度の改革について、お願いの形が強くなると思ひますが、首長が任命権者である。今もそういう形なので、そう変わらないと思ひますが、教育長、教育委員は議会の同意を得て、任命あるいは罷免をするということを知っています。私が心配しているのは、教育長の権限が教育委員長と教育長とが一本化されて新しい教育長が誕生する。そして、教育長は教育委員会を代表し、その最高責任者になるということが明記されている。教育長の権限が非常に強くなってくる恐れがある。そうしますと、教育委員の働きは何だろうかと思ひる時に、教育長の独走をチェックしたり、中には教育長としての力が発揮できない、統率力のない人もいるかもしれない。もし、そういう教育長の場合には、教育委員がチェッ</p>

		<p>クして、叱咤激励をするような立場が新しい教育委員には要求されるのではないかという気がします。町長が、教育長も教育委員も任命される訳ですから、教育長に対しては見識のある、指導力のある、統率力のある、教育長を是非これからも任命していただきたい。教育委員についても、十分教育行政をチェックできるような委員を任命していただきたい。来年の4月1日から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正されて執行されると思います。現在と大差ないと言われる方もおられますが、私自身はかなり変わってくる気がしてきています。教育長が全責任を持つということと、教育委員会がありますが、チェック機能を失った教育委員の会は今まで以上に形骸化してくる可能性があることを勧告しながら、適切な人を任命していただきたい。</p>
町	長	何人になるのですか。
教	長	教育長が1人、教育委員が4人です。トータルは同じですが、教育長は教育委員ではありません。
委	長	教育委員会は教育長が出席し、教育委員4人が出席し、今までのような教育委員会の会議は行われますが、教育長と教育委員は離れてしまう気がしている。べったりしていると馴れ合いになるので、本来の趣旨とは違うと思います。
町	長	保護者の委員はどうなっていますか。
教	長	保護者とか、学校支援地域本部、ボランティアに関わっている人を出来るだけ教育委員にと文言はなるようですけれども、日南町の実情からいってなかなかそういう訳にはならない。
町	長	教育委員会自体も、チェックとバランスをとっていくことも必要と思います。
委	長	今までは、教育長が教育委員のメンバーの1人であったから、いろんな情報等も教育長を通じて入ってきた。同じという人もいるが、私は教育長と教育委員は離れてしまうような気がしている。
町	長	総合教育会議にも教育委員さんは出られるのですか。町側は、私だけですか。
教	長	必要に応じて有識者の意見を聞くことができますとありますが、それは定席のメンバーではないです。
町	長	情報は、共有できると思います。小さい町の中の小学校が1校、中学校が1校しかない世界です。
委	長	小さい所ではありえないことですが、おそらく大きな市、都道府県になってくると、教育委員との関係は明らかに違ってくるだろう。田舎の場合には、ないとは思いますが、従来とは違う法律上の形が生まれて出てくるだろうと気がします。

	町長	教育委員会は、毎月ありますか。
	教育長	もちろんあります。今、大体年間20回ですから、それ位行わないと情報の話と議論ができません。
	委員長	教育総合会議で、教育振興計画を策定することになってはいますが、従来から教育委員会には日南町の教育振興計画は出来上がっていますので、それを基にしながら町長の考え方を入れていくとか、始めから全部町長が大綱案を作ることは無理なので、意見が反映されることになってくるのかなという気がします。
	町長	そういうところが狙いではないかと思います。
	教育長	教育委員会として、骨格的な、大綱的な議論を町長の意見を聞きながらということもあるのだろうけれども、町長の権限として予算の提出権とかある訳でありますから、それをされる時には教育委員会の考え方も吸収していただいて反映していただく。それがお互いの調整ということだと思います。そうすると年間2、3回ぐらいだと思います。
	町長	お互いに事後報告にならないようにしたいと思います。私がしゃべって聞いてないとか、教育委員会が知っていて私の方が知らないということがないように、日南町の子ども達の教育をどういうふうがいい教育をさせていくのか、どんな子どもに育てていくのかを、ある程度お互いに議論をしながら、前に進んでいくような話をしていかなければならない。教育委員会といっしょになって、現段階で何が一番ベストなのかを考えていかないといけない。
	委員長	お互い考えを出し合ったり、調整をしたり、そういう場であってもいいと思います。
	町長	日野高校の学校問題で今、コーディネーターを募集することをやっている。日野郡の中学3年生3つの町を合計しても100人もいないので、コーディネーターの人に1件1件回ってもらって、親と子の意向を聞いてもらう。本当は、親は残ってもらいたいと思っても、子どもには絶対言えないし、親から残ってくれと言われたことがない。自分が言われていないのに、子どもだけ残れと言えない。そういうふうな意向があって、子どもも本当は残ってもいいかなと思っているとすれば、どういうふうな残り方があるのかという話もしていけないと思っている。また、今、下の方にばかり日野高校でいうと就職の体験学習に行っている。日南町に来たことがないんです。オロチだって、今後コンビニが出来たり、コメリが出来たりすれば、そういう会社だって同じことをしている訳ですよ。成人式において、ローソンで働いていますとありますが、日南町にもローソンが出来たら、そこでもいいのではないかという気もするんです。できれば、日南町に勤めても、勤めなくても、オロチとか福祉会にコーディネーターが体験に連れてきていただいて、これだったら家

		<p>から通ってもいいかなという気持ちがあっても、いいんじゃないかなというような、もっと地域に残すようなことをやっていただきたい。もうちょっと、日野町でばかりで活動するだけでなく、バスでも出すから日南町に日野高校の姿を見せないと日野高校がいいよと言っても、誰もそんなことは思わない。日野高校もまじめな子どもが結構いるじゃないというところもやってほしいという話をした。高校までが義務教育化している時代ですので、日南町の教育委員会自体も高校ということも考えていかないと、間違いなく駄目だと思うんですよね。日野高校に行っている子ども達を伸ばしていくことを考えないと、地元に残れと言っても7割が郡外の子ども達が来ている中で、3割の子ども達の中でも、今年10人日南町から入学をした。その日南町の子ども達をどうやってうまく卒業させて、日南町に残らなくてもいいから独り立ちして、立派な社会人になってもらえるようなことを、町の教育委員会としても一緒になって協力していける体制を作ってやりたい。なかなか個人情報があって難しいこともありますが、先程コーディネーターが3年生の家を回れと言ったのは、日南町は残念ながら家で学習する癖がついていない。偏差値とか、大学のレベルとか、よくわかっていない。高校3年生の親に情報を与えておかないと、とんでもない間違いがある。もうちょっと中学校の段階でも、進路指導というか、その辺をはっきりしておかないと、とんでもない。親任せとか、本人任せみたいなところがあって、それが結果的に高校を間違えた、志望を間違えた、不登校とかに繋がるのではないかな。そこにあった子どもを救えるシステムは出来ないのかなと思います。就職先とか、方向とか、適性をよくわかってやることをやらないといけない。</p>
	委員 長	偏差値が高い大学というのは、親の学歴と経済力に比例しますか。
	町 長	残念ながら、します。負のスパイラルをどこかで断ち切ってやらないと思う。教育委員会、行政を含めて、今できることだと思えます。大事に育てるということは、決してあやまかすことではなくて、大事に見守ってやること。
	委員 長	日南町だけではなく、田舎の子どもの特徴は、やはり刺激がないだけに、状況を知らないことなんです。レベルとかわかっていない。
	町 長	1校統合の時に、反対したんですけれども、3校ぐらいでいいのではないかな。なぜかという、1校統合すると保育園や小学校から、ずっとランクが変わらない。
	委員 長	そういった意味からいうと、日南町でやっている土曜日授業で学習塾と提携をしたということは、非常にいいことだと思います。

	町 長	私も思います。刺激がないと、そこそこ出来ていても、世の中何人いるうちの何番目という世界でやっているから、全国模試で仮に10万人受けていて8万人。まずいなど、そこで努力をする子が出てくると、いいなと思います。
	教 育 長	予定の時間になりました。
	委 員 長	本意見交換会は、これで終了します。

経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会委員長